

森の川自然散歩

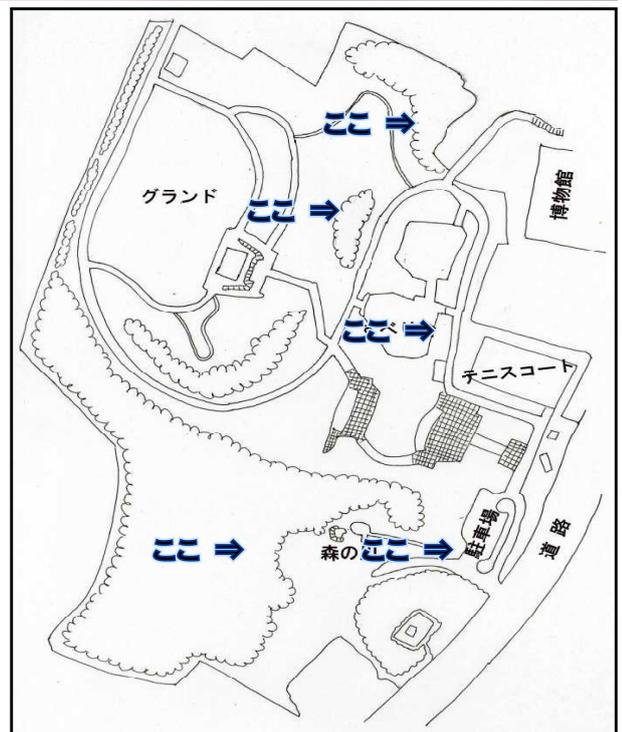
2019年2月号

梅にウグイス、桜にはメジロでしょう

上：公園のカンヒザクラにとまるメジロ。方言ではソーミナーと呼ばれています。

メジロ（メモ）▶▶▶

- 全長は約12cmで、スズメより少し小さめの鳥です。眼のまわりの白いリングが目立つので、他の鳥とはすぐ区別できます。ちなみにこの白いリングが名前の由来です。
- 森川公園では、下の駐車場周辺や上の広場の展望台、森川の泉の周辺でよく見ます。
- 通常は早朝の森の中で、枝から枝へと渡りながら餌をついばんでいます。サクラの時期になると、公園のサクラの枝には必ずやって来ます。
- 鳴き声がきれいなので、一昔前までは観賞用（鳴き声の）としてよく飼われていました。高音で長くなく鳥を「タカブキー」、小さな声で鳴く鳥を「クゥブキー」と呼んでいました。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(24) 巻き巻き葉っぱの謎 ～ アカタテハの冬越し ～



上:遊歩道沿いに生えたカラムシの巻き込まれた葉と中に隠れているアカタテハの幼虫(左)。

森の川の泉の手前や、ウガンヌカタ前の広場の周りにはカラムシという植物が生えています。今の時季(冬)に、カラムシの葉を見てみると、何かが巻いたような葉がたくさん見つかります。

これはアカタテハの幼虫が、冬越しのために巻いた葉です。アカタテハは冬にも成虫が活動するチョウですが、冬の前に産卵された卵からかえった幼虫は、口から糸を出してカラムシの葉を引き寄せて巻き上げ、隠れ家をつくりまわります。幼虫は、この中で冷たい雨や風をさけ、蛹になって春を待ちます。

少し根気がいりますが、巻かれた葉をひとつずつめくっていきくと、隠れている幼虫を見つけることが出来るかもしれないよ。

森川公園2月の花ごよみ

～ カタバミ ～

- 森川公園の上の広場やソテツ広場、ウガンヌカタ前の広場、遊歩道沿いの空き地などにたくさん生えています。
- 沖縄各地の島々に普通に生えています。地面を這うようにひろがり、高さは5～6cmくらいです。葉は長さが2cmくらいで、ハート型の小さい葉が3枚つながった形をしています。
- ほぼ一年中、黄色の小さな花を咲かせますが、特に冬は目立つ気がします。足下を観察しながら、ゆっくりと歩いていると、かわいい花を見つけることが出来ます。



上:上の広場で咲いているカタバミの花。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

